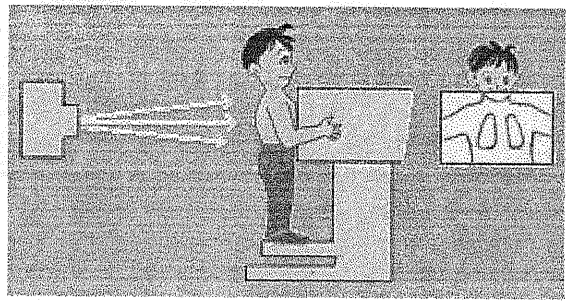


結核

みんなで予防しましょう



【結核にご用心】

みなさんは「結核」と聞くと、「結核は昔の病気である、もし病気になることも、まったく心配する必要のないくらいに病気がだ。」などと思っていまいませんか？

現在では、結核に感染する人も、またこの病気で亡くなる人も大変少なくなりました。しかし、最近のその減り方が少なくなっており、平成八年には新しく発病した人が全国で四万二、四七二人(宮崎県では四四二人)もいることを考えると、今もなお日本最大の感染症であり、ほおっておけない病気であることにかわりありません。

【結核とはどんな病気】

結核は、空気感染あるいは飛沫感染といわれる型式で感染します。いつでも、だれでも感染、発病のおそれがあり、同時に他人にも感染させる病気です。とくに結核患者の家族やその周辺の人で、抵抗力のない乳幼児やお年寄りには、いつもその危険のあることを忘れてはいけません。

結核はかなり進行しないと自覚症状はありません。初期症状はセキやたんなどのかぜ症状に似ているため、単なるかぜと思われ、発見が遅れてしまうことがあります。セキや微熱が出て、体がだるいなどの状態が長引くようなとき(とくに二週間以上)には、最寄りの医療機関で受診しましょう。

結核は肺に多い病気ですが、腎臓、脳脊髄、脾臓、骨などあらゆる臓器をおかす恐ろしい病気です。

【もし結核にかかったら】

「不治の病」といわれていた結核は、大気、安静、栄養が結核治療の重要なポイントでしたが、現在は良い薬が開発されて、ほとんど通院治療ですむようになりました。

たとえ入院ということになっても、昔のように長期間、療養生活をするなどの辛いこともなくなっています。

また、結核医療費には公費負担制度があります。

【結核を予防するためには】

結核は治る病気になってきました。が、まずはかからないようにすることが大切です。そのためには、いくつかのポイントがあります。

一、長引くセキは赤信号
セキが二週間以上続けば要注意。一ヶ月以上続く人からは、二十五人に一人の割合で結核が見つかります。

セキやたんは肺ガンの症状でもあります。おかしいなと思ったら早めに受診しましょう。

二、BCG接種
結核菌に一番弱いのが赤ちゃんで、感染すると、一気に発病、重症化することが多いのです。

これを防ぐのがBCGです。赤ちゃんの体調をみて、なるべく早い時期に受けるようにしましょう。

三、抵抗力をつけよう
結核に限らず、体の抵抗力が低下すると、いろいろな病気がおこってきます。

とくに、感染症の病気は、この機会をねらって活動を開始しますので、普段から体の鍛錬を心がけましょう。



四、進んで受けよう健康診断
(レントゲン検査)

結核になるのは、日本では過半数が六十歳以上の人です。昔、感染した結核菌が、年をとる、生活習慣病(成人病)にかかるなど、体力が落ちると活動を始めます。症状のあるときはもちろん、定期的健康診断を進んで受けましょう。

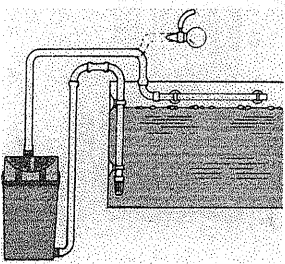
また、最近の結核検査(レントゲン検査)は肺ガン検査も兼ねて実施しています。早期発見、早期治療が大切です。

なお、詳しいことはお近くの保健所までご相談ください。

宮崎県のホームページより

六十センチ水槽あげます

院長の自宅で使っていました、六十センチ水槽が、不要になりました。ご希望の方に一セット差し上げます。受け付けまでお申し出下さい。



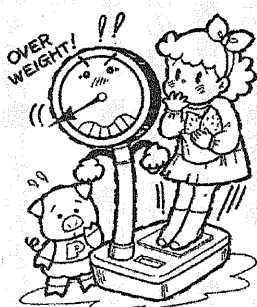
みなさんの質問や投稿を

お待ちしております。

☆受け付けからのお願い

月初めには必ず保険証を受け付けにお出し下さい。

診察券は毎回お持ち下さい。



9月・10月の休診日

(日曜・祭日)

水曜・土曜・第一火曜午後)

10月25日(月)～

10月30日(土)

休診